

【訓練実施のお知らせ】

今の操作は、セキュリティ訓練の一環です

お疲れ様です。ISMS 委員会事務局です。

今、リンクをクリックした皆さまへお伝えしたいことがあります。

実は、先ほどお送りしたメールは、当社のセキュリティ意識を高めるための「標的型攻撃メール訓練（サイバー防災訓練）」の疑似メールです。

「URL をクリックしてしまった」と不安に感じる必要はありません。今回の訓練の目的は、誰かを責めることではなく、全社一丸となって「組織の防御力」を底上げすることにあります。

今回のメールには、巧妙に仕組まれた「見抜くためのヒント」がいくつかありました。今後の被害を未然に防ぐため、以下のポイントをぜひ心に留めておいてください。

1. 巧妙な「偽りのルール」に注意

メールの中に「他言無用（他人に相談しないでください）」という表現がありました。しかし、社内の業務連絡において、「システムに関する重要事項を同僚や上司に相談してはいけない」という指示が出ることは、通常あり得ません。むしろ「相談させないこと」は、詐欺師が孤立させるための常套手段です。

2. 「違和感」は最大の防御

「セキュリティ管理委員会」という聞き慣れない組織名や、不自然に急かす文言など、少しでも「おかしいな？」と感じる感覚を大切にしてください。その違和感こそが、ウイルスや不正アクセスから会社を守る鍵となります。

3. 迷ったら、すぐに「ISMS 委員」へ

「本物かもしれないけれど、少し怪しい」

そう思った時は、自分一人で判断してクリックする前に、迷わず ISMS 委員へ報告・相談してください。

また、疑わしいメールは専用のメールアドレス転送してください。

isms-security@gxp.co.jp

皆さんの報告が、会社全体の被害を未然に防ぐ大きな一歩となります。

サイバー攻撃は「いつ、どこで」紛れ込んでくるかわかりません。

今回の訓練を「もしもの時」のための良い経験として、これからも高い意識を持って業務に取り組んでいきましょう。

ご協力ありがとうございました。